



平成 28 年 4 月 28 日

各 位

会社名 日本 KFC ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 近藤 正樹
(コード番号 9873 東証第 2 部)
問合せ先 経営管理部部長 野村 聖
(TEL.03-3719-0231)

平成 28 年 3 月期通期の業績修正及び特別損失計上に関するお知らせ

当社は、平成 28 年 3 月期（自 平成 27 年 4 月 1 日 至 平成 28 年 3 月 31 日）において、特別損失を計上すると共に、平成 27 年 4 月 24 日に公表しました平成 28 年 3 月期通期の業績予想と実績値に差異が生じたので、お知らせ致します。

記

1. 業績予想と実績値との差異について（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）

通期連結業績予想

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益又は親 会社株主に帰 属する当期純 損失 (△)	1 株当たり当 期純利益又は 1 株当たり当 期純損失 (△)
前回発表予想(A)	90,000	1,500	1,600	600	26 円 75 銭
今回実績値(B)	88,180	2,011	1,866	730	32 円 59 銭
増 減 額 (B-A)	△1,819	511	266	130	
増 減 率 (%)	△2.0	34.1	16.6	21.8	
(ご参考) 前期実績(平成 27 年 3 月期)	84,605	670	667	△524	△23 円 38 銭

2. 差異の理由

KFC 事業においては、原材料価格の上昇、販売費及び一般管理費の上昇があったものの、クリスマス期間（平成 27 年 12 月 23 日～12 月 25 日）の売上が前年を上回ったこと、又、新業態としてビュッフェレストランタイプの店舗を新規出店したことにより、売上が前年比 6.0%増と堅調に推移致しました。

一方、ピザハット事業においては、売上は前年を若干下回ったものの、販売費及び一般管理費の削減を行った結果、大幅に損益が改善されました。

3. 特別損失の計上について

当社が保有する土地等の固定資産及び長期債権について、今後の事業環境を踏まえポートフォリオの入替を検討実施した結果、特別損失として 691 百万円（減損損失 243 百万円、貸倒引当金繰入額 448 百万円）を計上致しました。

(注) 上記理由により土地等の売却益が 425 百万円計上されております。

以 上